

# 緑の風

ザ・密着

## 黄色い帽子を追いかける!!



雲の合間からようやくお日様が顔をのぞかせた雨上がりの6月8日(水)、行ってまいりました!

新1年生に密着取材です。小学生になってもう3ヶ月。慣れてきた子も、まだ色々なことにドキドキしてしまう子も元気よく登校です。

カメラに気付き近づいてくる子、少し恥ずかしそうに笑ってくれる子、たくさんのステキな表情に出会うことができました。

それでは、レポートスタートです。



START!

登校

8:10



友だちの顔見たら自然に笑顔。

お~早いじゃん、チャイムなるまで外遊びするけど行く?



校門や信号付近で校長先生と。

おはようございます! 今日はこちらに校長先生いたね!



朝の日課の朝顔観察&水やり。

わたしの朝顔いちばん大きくな~れ!



まだまだっ! 1日は始まったばかり。

# ザ・密着 黄色い帽子を追いかける!!

8:30  
開き読み



各クラスで15分間の開き読み。

9:30  
歯科検診



虫歯ありませんように!

11:30  
4時間目

金曜日に延期になった遠足が晴れますようにとみんなで作ってる坊主を作りました。

12:30  
給食



スープがこぼれちゃう、早くパンちょうだい!

みんなおまたせ~! もうちょっと待ってて~



みんなの大切な給食、わたしたちお当番がしっかり運んでまーす!

ちゃんと前見てよー

おなか減った~

転んでばかりで足はあざだらけなの、早くわたしも乗れるようになりたい!

昼休み



上級生に教えてもらい特訓中。



砂ぼこりをせっせとおそうじ。1年生にはまだちょっと大きなブラシ。

14:45  
下校



先生に負けじと背筋ピーーン。

GOAL!

学校楽しかったなあ

また明日~。

取材を終えて  
とても楽しそうな1年生の子どもたちが印象的でした。廊下に掲示されている子どもたちの作品を見ていると、取材する私たちも童心に返ることができました。パワフルな先生方のご指導のもと、ますます瞳のキラキラが増していく1年生! 黄色帽子を見かけたら応援してあげてください。よろしくお願いたします。

# 学校に慣れたかな? ~先生編~

1年生の学校での様子、いかがでしたか?  
新しい環境での毎日は、ワクワクの反面、ドキドキもしますよね。  
しかし1年生のみんなは、毎日とてもたくましく、成長している様子が見られました。  
そんな1年生と時を同じくして、この4月から6名の新しい先生が着任されました。  
新任の先生方に、そろそろ学校にも慣れてきたかな?と思われる5月末に、心境を聞いてみました!

アンケートから1ヶ月半が経ち、子どもたち同様に、先生方ももうすっかり慣れてきたかな?!



- ①緑が浜小学校に慣れましたか?
- ②緑が浜小学校の子どもたち、学校の印象



2年2組  
長谷川瞳 先生

①はい  
②がんばり屋さんや心の温かい子が多く、日々感動しています。保護者の皆様、地域の方々も気さくで親切な方が多くて、とても協力的!!



5年1組  
今井健志 先生

①はい  
②子どもたちが元気いっぱい、活気に満ち溢れている学校だなあと感じました。学校がきれいな事にもびっくりです。



音楽  
藤澤玲子 先生

①はい  
②校歌の歌詞にあるように、学年も家も違う児童が兄弟のように過ごしている。元気な笑い声が響く居心地のよい学校だと思います。



4年2組  
大久保大輔 先生

①まだどきどきしている  
②子どもたちはとても前向きで、明るくて、毎日元気をもらっています。そして、給食をたくさん食べる事に感心しています。



3年・4年書写、  
4年理科  
斎藤直人 先生

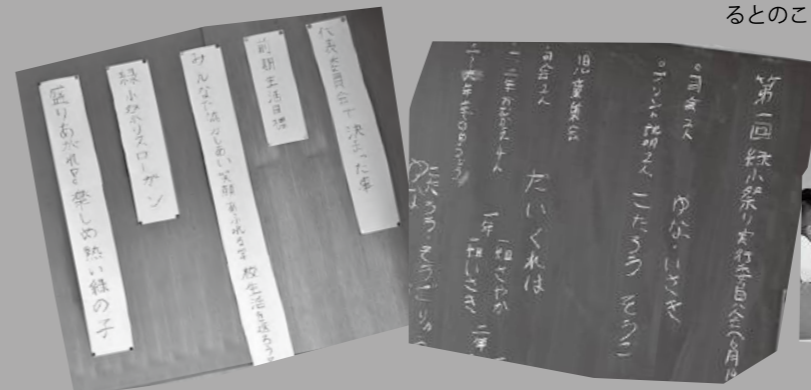
①まだどきどきしている  
②子どもたちが少ないので1人ひとりがよく見え、学校・地域みんなで子どもを育てていく温かい雰囲気が伝わってきます!!

★吉野校長先生は、特集を組みましたので、そちらでお楽しみください!

のぞいてみました!

## 緑小祭り実行委員会

当初、代表委員会を取材する予定が、時間を勘違いしてチャンスを逃してしまいました(大汗!) ちょうど、緑小祭り実行委員会が始動するとのことで、今回はそちらへお邪魔しました!



クラスみんなにしっかり伝えてください。

6月14日の13時、3階ランクルーム前で待っていると、筆記用具を持った生徒たちが集まってきました。  
3~6年の各クラス2名の緑小祭り実行委員たちです。定時近くになると、まだ来ていないクラスの委員を呼びに、係の児童がタツシユ!  
全員揃うと、生徒たちが自発的に会を始めます。  
司会から前ふりがあり、まず6年の委員長から、「委員のみなさんの仕事は、ここで話したことをクラスのみなになに伝えることですよ」と、背筋が伸びるような話。聞いている子どもたちは緊張感を漂わせ、必死に話を聞いています。  
続いて、別の6年委員から次回の会議までに用意するポスターなどの説明。生徒だけで(超!)段取り良くテキパキと進められ、会は無駄なく終了したのでした。  
初めて参加しているであろう3年生は大丈夫かな!?と気になるので、そこは終了後に先生が優しくフォロー。  
こうした場を通じて、上級生の姿を下級生も目に焼き付け、成長する機会にもなっているんだな〜と感じました。



本物にふれる授業 /

あふれる響きに包まれて♪

新国立劇場合唱団、来校

6月17日、緑小に「新国立劇場合唱団」がやってきました！  
 今年は保護者も参観でき、総勢33名の迫力ある公演を子どもたちと一緒に楽しみました。



公演に先立つ5月23日、5名の団員さんが来校し、合唱ワークショップを開いてくださいました。また、校歌の合唱を指導してもらい、いつもの元気いっぱいな歌声もいけれど、この日は柔らかく優しい、美しい歌声を学びました。

これは、昨年引き続き、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業―巡回公演事業―」によって開かれたもの。  
 神奈川県を含む11の自治体で、同合唱団の公演が開かれるのは17の小中学校のみ。緑小のみんな、ラッキー!!



★きれいな声とは、あくびをするように響かせる声

★美しい合唱、3つのポイント

1. 姿勢
2. 息の仕方
3. 共鳴の仕方

最後は、5月のワークショップから練習を重ねてきた校歌と一緒に歌いました。  
 やっぱ、自分たちの校歌がいちばん好きな子どもたち。思いつき歌ってました♪

聴いたことのある民謡、そしてオペラの楽曲が次々と演奏され、さまざまな声が体育館にあふれ響きます。圧倒的な声のエネルギーに包まれました。

そして本公演。美しいドレスとタキシードの合唱団に、やや緊張気味の子どもたちでしたが、  
 「あつるっこー、あつるっこー」  
 とおなじみの歌に合わせてステージへ上がる団員みなさんに、会場の雰囲気はいつきに柔らかくなりました。



●●大地震発生●●

シリーズ1 ~自分の身は自分で守る~

1995年に起きた阪神淡路大震災、5年前に起きた東日本大震災、そして今年4月に起きた熊本震災。

地震活動が活発になってきている気がするのは、私だけではないと思います。

むやみに怖がる必要はないけれど、もし保護者不在で子どもだけにいる時だったら…、

もし子ども同士で遊びに行っている時だったら…。

子どもと一緒にいない時、しかも頼れる大人がいないかもしれない時、

そんな時に大地震が起きるのが一番不安ではありませんか？

いざという時、子ども自身で命を守らないといけない状況になるかもしれない、

そう考えて、今一度お子さんと一緒に確認をしてみませんか。



おしえて! せんせい!

実際に大地震が起きた際の学校に関する疑問を小野教頭先生に聞いてみました



Q 5月13日に行われた引き取り訓練では、子どもたちをそれぞれの教室で引き取りました。実際に津波警報が発令された場合、子どもたちはどこに待機しますか？

A 茅ヶ崎市の予想では、3階なら大丈夫との判断をいただいていますので、子どもたちは3階の教室に避難します。地域の方が避難してきた場合は、ランチルームや特活室を開放します。保護者の方も、その時の状況をよく判断し、まずはご自分の身の安全を確保して、確実な情報を得て行動してほしいと思います。

Q 登下校中または休日など、子どもたちだけにいる時に大地震が起こった場合、「学校に避難しなさい」と教えて大丈夫ですか？

A 大丈夫です。耐震的に学校はとても安全です。休日でも、避難を要するような場合はすぐに学校を開放できる手はずになっていますので、学校の近くにいるなら学校に避難でいいと思います。

Q 避難訓練を通して、子どもたちに感じることはありますか？

A 東日本大震災を経験している子は、反応が早いし真剣さがあると思います。課題は、自分で判断する力がまだ弱いことでしょうか。学校では先生の指示に従って動きますが、もしかしら1人でトイレにいる時かもしれないし、1人で階段にいる時かもしれません。その時どうするのか、その判断が大切になります。色々なことを想定して、いざという時落ち着いて行動できるように訓練していくことが重要だと思っています。ぜひご家庭でも、自分の身をどうやって自分で守るのか、お子さんと一緒に確認していただきたいです。



吉野利彦  
校長先生

- ①緑が浜小学校に慣れましたか？
- ②緑が浜小学校の子どもたち、学校の印象

①はい  
②緑が浜小学校の子どもたちは、明るく素直で、相手の気持ちを考えて行動することができる子がとても多いと感じています。

そこで今回は「先生！質問です！」の拡大バージョンとして、たっぷりお話を聞いてきました。

神本前校長先生の精力的な活動を近で見てきた私たちにとって、新しい校長先生はどんな先生なのか、どんな風に学校を運営されていくのか興味津々、期待大です。

3月に神本前校長先生が退職され、今年度より吉野校長先生が赴任されました。

### 先生！質問です！



どのような教育方針で、どのような子どもたちを育てたいと考えていますか？

- すべては子どもたちの「心の笑顔」のために -

基本的には、神本前校長先生が目指してきたものとほとんど変わりませんが、大きく5つの目標を掲げました。

- 子どもも教師も、失敗や間違いを受け入れ成長していける風土をつくっていく。
- すべての子どもにとって分かりやすい授業を行うなど「インクルーシブ教育※」を推進していく。“困った子ども”ではなく、“困っている子ども”にとってどんな支援が必要かを、教師やサポートの先生と考える。
- 子どもが主体的に学ぶ力を育てていく。例えば、教師の一方的な授業ではなく、子どもたちが「なんでだろう？」と自分なりに、また仲間と一緒に考えていけるような授業。
- 豊かな感性、情緒を養っていく。朝の読書の日常化や、本物に出会っていく教育。
- 朝の見守りなど、保護者・地域との協働を大切にしていく。

小学校は、中学校を含めた9年間の義務教育の土台です。中学校での生活を見据えた教育を、そして教員の授業力向上と学級・学年経営の充実を目指していきたいです。また、我々だけの力では限界があるので、これまで通り地域・保護者の方にご協力をいただき、すべては子どもたちの「心の笑顔」のために努力を惜しまずやっていきたいです。

※共生社会の実現に向けて、障害の有無によらず、すべての子どもが、できるだけ同じ場所で共に学び共に育つことを目指し、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援を行う教育のこと

教師になろうと思ったきっかけはなんですか？

小学5、6年生の時の担任教師との出会いがきっかけです。それまで、割といい加減に生きてきたのに、先生はいつも「生きるとは？」ということを考える機会を与えてくださいました。その中でも「本物を生きよう」という言葉は、いつも心の支えとなってくれていました。その後いろいろな挫折もありましたが、それでも「教師になりたい」という想いがぶれなかったのは、その先生との出会いがあったからです。だからこそ、教師の言動の影響力の大きさを実感していますし、この仕事に責任をもって臨まなくてはならないと思っています。はれて教師になり、これまで中学校で数学を教えていました。その後、教育委員会で6年間勤めた後、緑小へ。緑小の子どもたちは純粋であったかいなと感じています。伸びる可能性がたくさんあるので、これからが楽しみです。



吉野校長先生は、想像していた以上に熱〜い方でした！ 私たちもお話を聞いて、これからの緑小がとても楽しみになりました。お忙しい中ありがとうございました。

### パパボラ始動！



6月18日にパパボラ発足会を開催しました。校長先生、教頭先生にもご出席いただき、集まった12名のパパボラと、今年度の活動計画や今後のビジョンなどを熱く語り合いました。



今年度のパパボラ活動として

- みどりの子夏祭りの時に保護者親睦会を兼ねて『流しソーメン』大会を行う
- 去年4年生の授業で行った『三橋卯之助さん茅ヶ崎の歴史を語り伝える授業』をパパボラの手で実行する。

今年度、パパボラ活動の目玉として上記2点を行いたいと皆さんに相談しました。すると参加したパパから、「会社に流しソーメンの道具があり、借りられるかもしれない」とのご提案。また別のパパは、卯之助さんの授業を主体的に進めている方たちとすでにお知り合いとのこと。あまりにすんなりとコトが進みびっくりしました。パパボラネットの力ですね。

また今後やりたい活動として

- 『子どもと遊ぶ日企画』：子どもたちと1日使ってどんな遊びをしようか？コマ、メンコなどの昔遊び。海遊び。大いに話が盛り上がりました。
- 『校庭芝生化計画』：緑小のグラウンドは狭めだけど、緑の芝生になったら子どもたちも嬉しいよね。実現したいね。ということで「JFAグリーンプロジェクト」（芝生の苗70万株を無償で提供するキャンペーン）に申し込むことを前提に、協議を進めることになりました。

パパボラの今後の活動にご期待ください。

### 大人も楽しもう！

### 絵本の時間

5月25日、「緑が浜小学校開き読みの会」のみなさんが、保護者向けの「絵本を楽しむ時間」を催してくださいました。



### 参加者の感想



普段子どもたちにどんな風に読み、どんな絵本を選んでくださっているのかが知ることができました。小さい頃に読んだ絵本が大人になっても話題になること、今だからこそできる開き読みを大事にして欲しいというお話に、わが子との絵本タイムが一層愛おしくなりました。(T.H)



家族の声で読むことが、子どもの心の安定につながることや、親子共通の思い出になることを改めて教えてもらいました。本の選び方や開き読みする時のポイントなどについて、メンバーの方々の子育てや学校でのご経験からアドバイスいただき、とても参考になりました。(M.O)

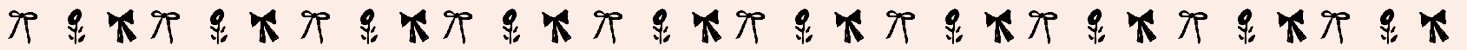


### 仲間募集中！

開き読みの会は、P.G.T.とは別組織、地域のボランティアグループです。けれど、子どもたちのために活動している思いは同じ！絵本が好きなアナタ、子どもたちにお話を届けてみませんか？

- 活動は月1度の選書の検討会、そして読み聞かせ当日、反省会などです
- 読み聞かせはいつでも見学できます（できるだけ事前に担任の先生へご連絡ください）
- 問い合わせ・申し込みは、担任の先生を通じてご連絡ください





# ★ 花壇ボラ活動報告 ★

4ヶ月ほど前になりますが、卒業式前にお花を持ち寄ったこと、覚えていますか？ そのお花たちを飾り付けた卒業式の装花がとっても素敵なんです。卒業生の保護者以外見ることがないのはもったいない。ちょっと季節外れになりますが、ご紹介しちゃいます。

体育館の入口が、門出を祝う装いに。「か、かわいい〜」花壇ボラも満足の仕上がります。



豪華な桜の枝花は、在校生父母の小嶋さんからのご寄付です。ありがとうございます。



生徒が持ち寄ってくれたお花を組み合わせ、一つ一つ違うブーケに。みんな違ってみんないい〜♪

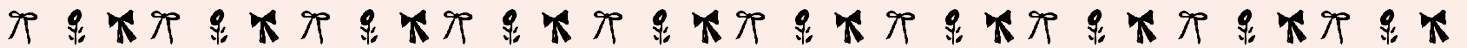
子どもたちが持ち寄ってくれたお花たち。お庭に咲いているお花、観葉植物を剪定した葉っぱなども大活躍します。



皆さまのご厚意で、卒業式前日届けられたお花で、このような素敵な飾りができました。会場入り口では、寄付していただいた桜と花壇ボランティアの飾り付けが卒業生を迎えました。お花をご寄付いただいたみなさま、ありがとうございます。来年3月の卒業式にも、たくさんのお花をお待ちしています。



(花壇ボランティア：石渡)



## 祝・広報チームメンバー倍増！

今年は7名で活動スタートすることができました。パパボラさんも初参加です。バンザーイ！顔合わせと同時に今号の企画会議をしました。緑小広報は、行事を追いかけるのではなく、メンバーの素朴な疑問がベース。初めて会議に参加しても、日々感じていることを活かしていきます。今これを読んでくださっているあなたも♪ 気になるコト、知りたいコトを、広報チームまでお寄せください。

## 編集後記

